

第1回 三木市多文化共生推進プラン策定検証委員会議事録 概要

- 1 開催日時 令和6年8月1日(木) 15:30~16:50
- 2 開催場所 三木市役所4階 特別会議室
- 3 出席委員 15人(欠席委員:なし)
- 4 事務局 市民生活部部長、市民協働課長、市民協働課多文化共生係
- 5 協議事項 三木市多文化共生推進プラン実施計画の策定について
- 6 議事録
 - 部長 挨拶
 - 委員委嘱
 - 委員紹介 (自己紹介・挨拶)
 - 事務局紹介 (自己紹介)
 - 委員会の概要について事務局から説明
 - 傍聴、会議録公開について
 - 委員長、副委員長の選任(委員長に乾委員、副委員長に植田委員)
 - 委員長 挨拶

【質疑】 三木市多文化共生推進プラン実施計画の策定について

委員長	<p>それでは、ただ今より審議に入ります。</p> <p>事務局のほうから議題について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議事の 三木市多文化共生推進プランの実施計画について説明いたします。</p> <p>「三木市多文化共生推進プラン(P24)」の基本理念や基本目標を踏まえ、それぞれの施策について、今年度各所属において実施する具体的な取組をまとめました。(実施内容、区分の説明)</p> <p>基本方針1、コミュニケーションの活性化(①行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備、②日本語教育・生活オリエンテーションの推進)については、「やさしい日本語」での窓口対応を基本として取組を進めています。</p> <p>本市では職員の「やさしい日本語」研修を平成29年度から行っており、「やさしい日本語」での窓口対応が基本となっています。令和元年度に施行された「日本語教育の推進に関する法律」に基づいて日本語学習や文化を学ぶ機会の充実などを進めていますが、各課が課題として検討する新しい取組「C」が多くみられます。</p> <p>基本方針2の生活基盤の整備については、外国人住民が、安心して生活を送ることが出来るよう、教育、就労、医療、福祉・子育て、住居に関する情報をわかりやすく提供するとともに、防災等への意識啓発と必要な支援を行います。</p> <p>基本方針3は意識啓発・社会参画支援となっており、職員には「やさしい日本語研修」や「多文化理解研修」を行っております。今後は、色々な交流イベントを通じて地域住民への多文化理解を進めながら、お互いに尊重しあえる環境を作り、様々な団体と連携して外国人住民にも多様な場面で参画してもらえるよ</p>

	<p>うな仕組みづくりを進めようとしています。</p> <p>基本方針4は地域活性化の推進やグローバル化への対応についてです。本市の人口は減少しています。減少が緩やかなのは外国人人口が増えているためです。人口減少が進む中で、外国人住民の知見やノウハウを活用しながら、持続可能な街づくりを行うための取組が記載されています。</p> <p>以上が各課からの実施計画の概要となります。いろんな角度からの意見があれば、「C」が「A」になるなど事業が進むと思いますので、皆様の意見をお聞きしたいと思います。</p>
委員長	<p>事務局のほうから説明いただきました。「C」の記載がたくさんあって、これを改善できたらと思います。コミュニケーションの活性化の所に「C」が多くありますが、広報やホームページなどの多言語化が難しいのでしょうか。</p>
事務局	<p>ホームページは機械翻訳が可能です。広報広聴課の提案は、広報すべての翻訳等が困難なため、健康増進課と連携して休日診療の案内について、多言語又は「やさしい日本語」に翻訳して、広報やホームページに掲載できないか検討するとしています。</p>
委員長 事務局	<p>交通政策課も神姫バスとの連携について書かれていましたね。</p> <p>新たな取組として、バス停等にルビを打つことを神姫バスに提案ができないか検討するという事です。</p>
委員長 副委員長	<p>皆さんもご質問等があれば、教えていただきたいと思います。</p> <p>基本方針2 生活基盤の整備(3)緊急時・災害時の支援体制の整備で、救急救助課の取組がなぜ「C」なのでしょう。危機管理課も公民館も「A」としています。</p>
事務局	<p>消防では自治会から要望を受け消防訓練を実施していますが、外国人住民の参加はほとんどないので、自治会から外国人住民にも声掛けしてもらえよう、働きかけるという内容です。</p>
副委員長	<p>市の防災訓練には外国人住民が参加されています。各自治会での防災訓練がネックになっているということですね。</p>
事務局	<p>外国人住民は自治会にほとんど加入していません。また、加入していても、自治会通信等のチラシの多言語化が進んでいなければ情報提供できません。</p>
委員	<p>バス停のことで、聞きたいのですが、私の知り合いのインドネシア人はバス停の丸と四角の看板表記が何かわからず、「これは何に使うのですか」と質問を受けたことがあります。私たちにとってはバス停があり、そこに時刻表や目的地が書かれているのは当たり前かもしれませんが、国が違えば「それがバス停である」という認識ができないのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>私も1週間ほど住めば、バスが何度も停まるので、そこがバス停であるという認識はできました。中国人は漢字が読めるので、だいたい分かります。</p>
委員	<p>ベトナムのバス停は屋根があります。日本は屋根がないし、漢字の表記なので分かりにくいと思います。</p>
委員長	<p>携帯のアプリなどで、何かできることはありませんか。</p>

委員	神姫バスの時刻表は携帯で調べると日本人の私でも難しいので、パソコンで調べて確認しています。阪急電車ではアルファベット等で表示されていて分かりやすいです。バスでも取り入れられませんか。
委員長	確かに神姫バスは漢字表記だけで、ルートの表示も分かりにくく、英語のページも見たことがありません。阪急電車は駅ごとにナンバーがついていて分かりやすいです。
事務局	そういったことを含めて、QRコードをつけるなど神姫バスへの提案を考えています。基本方針1 コミュニケーションの活性化(2)日本語教育・生活オリエンテーションの推進②生活オリエンテーションの実施で交通政策課が「バスの乗り方やICカードの使い方を知っていただくための方策」も提案されているので何か対応できないか提案してみます。
委員長	そもそも外国人の方はバスに乗るのでしょうか。それとも自家用車で乗り合わせるのでしょうか。
委員	一部日本語の堪能な方はNICOPAを使って安く利用している人がいると聞いています。会社にいる6人のインドネシア人は日中働いているため時間的にNICOPAを買うことができません。バス停もよくわからないため、日常的には電車を使います。
委員長	三木市では電車は限られていますよね。バスや車を使っていなければ、徒歩で移動しているのでしょうか。
委員	技能実習生の場合、会社が電動自転車を買って与えているケースが見られます。
委員長	自転車となると交通ルールがありますので、そういったルールを伝える仕組みも必要となってきますね。
委員	短距離のバスであれば、きちんと表示してあげてほしいです。例えばQRコードで表示するでもいいですし、メインの場所だけでも表示できればいいのではないのでしょうか。外国人の方は自転車で買い物に行っているのは、手っ取り早くいきたいところにいけるからだと思います。
委員長	言葉が分からないので使えないというのはもったいないので、利用してもらえようようにしてほしいですね。
委員	多言語対応といってもどこまでするかという問題があります。まずはふりがなでルビをうつところからかと。三木市には51か国の人が住んでおり、すべての言語に対応することはできません。多言語表記ができればいいけれども、オリンピックで使用されているピクトグラムなどもいいと思います。トイレの表示のようにバスのピクトグラムがあれば、分かりやすいのではないのでしょうか。
委員長	勤務先は姫路にあり外国人もとても多いのですが、全く表示がないので、外国人がバスによく乗り間違えています。大学の前でも間違えて降りている人がいるので、仕事を差し置いて、バスの案内をしています。姫路のような観光都市でさえ、対応が遅れていると感じます。
事務局	市でも何かしようと考えているところです。基本方針4 地域活性化の推進やグローバル化への対応(1)外国人住民との連携・協働による地域活性化の推

	<p>進①地域活性化の推進で、観光振興課が道の駅よかわの工事をしているのですが、新しく作る建物においてピクトグラムの使用を計画しています。</p>
委員	<p>観光客にとっては東京メトロが AB などの番号表記になっており、とても分かりやすいそうです。外国のバスも色や番号で表記されていて分かりやすいです。</p>
委員	<p>電車内の電光掲示板も分かりやすいので、バスの中でも同じように電光掲示板等で表示し、番号を照らし合わせることができれば分かりやすいのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>確かに東京メトロの路線が色分けされているのは分かりやすいですね。京都駅でも、「次の●●番のバスが来ます」といった表示がでるので分かりやすいですね。英語まではいかないですが、ローマ字表記やひらがながあればいいですね。</p>
委員	<p>最近ではスマホで翻訳ができると思うので、バス停等の基本となる表示だけでも、1年かけて神姫バスでできないのでしょうか。</p>
委員	<p>神姫バスを外国人に案内しようとしてホームページを見たら、情報量が多くて見つけられなかった。諦めて、神戸電鉄を案内しました。外国人が必要なのはバス停と時刻表だけなので、もっと簡単に表記してほしいです。</p>
委員	<p>バスの中に持って入ってはいけないものを説明してほしい。ベトナムでは大きなものや動物、匂いの強い食べ物なども持って入ってしまう。</p>
委員	<p>基本方針3 意識啓発と社会参画支援 (1) 多文化共生の意識づくりと啓発活動①地域住民等に対する多文化共生の意識啓発に関する話です。外国人住民の方で間違ったごみの捨て方をしている人がいるが、言語がわからないから声をかけられないと言われます。自治会や地域住民に対しては、「やさしい日本語」での声掛け（あいさつ）を意識づけることが大切だと思います。</p>
委員	<p>ごみの捨て方は難しいです。生ごみ、資源ごみ、燃えるごみ、燃えないごみ、カン・ビンなどの分類があるし、曜日も違う。引っ越したらまた変わる。昼間は仕事をして、夜遅く帰ってきてたら日本人と話すこともないので、日本に長く住んでいないと理解できないと思います。</p>
委員長	<p>神戸市のごみ袋は多言語対応していますが、三木市のごみ袋は多言語対応されていますか。</p>
委員	<p>多言語対応はしていないが、絵が描かれています。外国人の相談窓口などでごみトラブルの話は出ないのでしょうか。</p>
事務局	<p>外国人住民相談窓口にはよく相談があります。外国人住民ではなく、地域住民からです。外国人住民はわざとしているわけではないので、行政も企業も生活オリエンテーションなどを活用して理解を促す必要があります。日本語教室の特別授業やオリエンテーションでは、2,500人の中の何十人でしかないので、ごみの捨て方に関しては、地域のご協力をお願いしたいです。どこの誰かわからない、日本人か外国人かもわからないので、多言語対応にも限界があります。</p> <p>基本方針1 コミュニケーションの活性化 (1) 行政・情報の多言語化、相談</p>

	<p>体制の整備①「やさしい日本語」・多言語、多様なメディアによる生活情報の提供で、環境課がゴミ分別アプリの充実を図っています。51か国の多言語対応は難しいので、絵を使ったり、少しずつ多言語化に対応しようとしています。</p>
<p>委員</p>	<p>では、自治会としてはこういったアプリがありますよ、といった声掛けから始めていくのがいいということですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。例えば、イベントをした後に、一緒にごみの片付けをするなど、言葉だけではわからなくても一緒にすることで理解してもらえます。環境課はオリエンテーションでいろんな材料を持ってきて、分けて見せます。ごみの捨て方は難しいので、地域の人と一緒に何かしていただけたら理解が早いのではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>うちの地区でも外国人が増えてきており、それに伴って、ごみの出し方など今までになかったトラブルが出てきています。捨てている中身を見ても、どこの国の人か判別できないし、まずはそういったルールがあることを伝えられる地域にしたいと思っています。ただ、なかなか周りに一緒に伝えていきましょう、という人がいなくて困っています。</p>
<p>事務局</p>	<p>市職員も初めはそうでした。外国人に慣れていなくて、なんでもかんでも相談窓口へ持ってこられていました。国際交流協会が英語での対応はできますが、私たちも外国語は堪能ではありません。国籍を確認して、ポケトークを持って現場に向かっていた。研修を積むごとに職員も「やさしい日本語」に慣れてきて、今では呼ばれることはほぼなくなりました。慣れ、傾聴するということが大事かと思います。日本に働きに来られている技能実習生等は、日本語を話しますので大丈夫です。</p>
<p>委員長</p>	<p>気軽に話しかけてもらえればと思います。ごみとバスのお話をしている間に時間が迫ってきました。他に何かありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>ごみ問題はいろいろありました。何かあれば会社に連絡してもらえるように、最初に住民の方に話をしています。万全の態勢で受け入れてられているのではないので、何かあったらその都度少しずつ解決していければと思います。バスや電車は逆にこちらが教えてもらいたいくらいです。この前ミャンマーからきた職員が、働くまで1週間猶予があったので心配していたら、電車で1人は関東まで行って、1人は大阪の彼女の所まで行っていたので、神戸電鉄は乗りやすいのかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私たちは毎朝朝礼があるのですが、日本語で挨拶をしたあと必ずその国のことばで「おはようございます」を言うようにしています。また職員どうしで仲良くなって、日本人と外国人と一緒にUSJへ行ったという話も聞いています。ポケトーク等を使いながらではありますが、ちょっとずつ仲良くなればトラブルを未然に防ぐことができるのではないかと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。他にもたくさん聞きたいのですが、いったん持ち帰っていただいて、疑問があれば連絡をいただく形でいいでしょうか。バスとゴミだけでこれだけの意見がありますので、もっと出てくるのではないかと思います。</p>

事務局	<p>今お聞きした意見も各所属へのヒントとなるので各所属へ伝えたいと思います。その都度何かありましたら事務局のほうへ連絡いただければ、参考にさせていただきます。</p>
委員長	<p>ではいったん持ち帰っていただいて、できることや問題点などを考えていただければと思います。皆さん、活発に意見をいただきありがとうございます。それでは事務局に進行をお返しします。</p>
事務局	<p>本日は様々な意見をいただきありがとうございました。それぞれの地域や立場からいただいた意見は、各所属にフィードバックして、事業を実施する上での参考にさせていただきます。様々な担い手がそれぞれの役割を果たしつつ連携、協働できるようにご協力をお願いいたします。</p> <p>ここで、事務局より連絡事項がございます。</p> <p>本委員会の今後の開催予定について、今年度中（2月頃）に1回、次年度（令和7年）中に2回程度開催することとしております。</p> <p>次回の策定協議会では、実施計画の進捗状況を報告させていただきます。</p> <p>開催日については、メール等で日程調整をさせていただきます。委員の皆様には、どうしても都合のつかない曜日や時間帯があれば教えていただきたいと思います。資料は事前に配布する予定ですので、ご持参いただきますようお願いいたします。</p> <p>11月26日（火）に、（仮称）多文化共生のまちづくりシンポジウムを計画中です。外国人と日本人が共に活躍できる社会について、企業や地域が今何をすべきか一緒に考えたいと思っています。まとまり次第広報しますので、ご参加いただきますようお願いいたします。</p>

7 閉会

副委員長 挨拶